



水素を水に溶かす技術が特許もの

秋元 康の

ヒットの予感

健康オタクの秘密兵器

人は、誰も、何かの「オタク」である。秋葉原に集まるような「アニメオタク」

だけではなく、自分では気づいていない「野球オタク」、「政治オタク」、「株オタク」もいる。

その分野に関してがなり詳しいというだけである意味、「オタク」なのだ。いつからか、「ファン」とか「マニア」という言葉が、「オタク」という言葉に代わっただけのことだろう。「好きなものを極める者」という意味合いが強い。

僕は食べることに關しての執着心だけは、かなり強いので、さしずめ「食べ物オタク」ということになるのだろうが、最近、自分がもうひとつ違う分野でも「オタク」であることに気づいた。「健康オタク」だ。

仕事に追われ不規則でストレスの多い生活を強いられているからこそ、健康に対しての関心が強い。どこそこ最新の人間ドックがあるとか、このサプリメントは間違いなく体にいいとか、アメリカの学会でこんな説が発表されたらしいとかの情報に敏感なのだ。

また、「オタク」は自分の知識を自慢したいから、同好の士(?)と情報交換をする。

作曲家の三枝成彰氏も、その筋では有名な「健康オタク」である。何しろ、サプリメントだけで何十種類も飲んだり、断食道場に行ったり、ある時期は自分のオシッコを飲む「飲尿療法」を実践していたほどである。好奇心が旺盛なのだ

ろう。六十三歳になる三枝氏があれだけ若々しいのは、その辺りに秘訣があるらしい。

三枝氏とお会いするたびに、お互いの健康情報交換し合う。先日、ある会合で一緒になった時、三枝氏から教えていただいたのが、水素結合水の「H₂O」という水である。三枝氏の知り合いが研究、開発したこの「H₂O」は、水素を水に溶かしたものだ。

糖尿病のひとつの目安と言われるA1Cの検査値が六・一だったのが、今までの生活と同じことをしていたのに、この「H₂O」を朝晩、飲んだだけで一月で五・五になったという。マイナス〇・六ポイントである。これは、驚異的なことだ。僕もA1Cが高いので、一月月ほど前から、朝晩「H₂O」を飲み始め、〇・四ポイント下がった。

だから、誰にも効くと喧伝するのは、時期尚早だろう。エビデンスが必要なのはわかる。ここで声高にその効能を謳おうということでは

ない。しかし、「健康オタク」は、自らが人体実験をするのが楽しみのひとつでもあるのだ。人によつては、下痢をすることもあるらしいが、僕は平気である。多少、オシッコに行く回数が増えたくらいだ。僕は飲み続けよう。「H₂O」は、「健康オタク」の秘密兵器である。その結果は、また、報告したいと思う。

作詞家。1956年東京生まれ。美空ひばり「川の流れるように」などヒット曲多数。著書に「世の中にこんな旨いものがあったのか?」(小学館文庫)、「着信アリ」(着信アリ2)(角川ホラー文庫)他。京都造形芸術大学芸術学部教授。